

平成の釈迦牟尼大仏 八事山に奉安



9月6日、富山県高岡市よりお越しになった平成大仏を集まった方々の手で曳く「入仏鎮座式」が華やかに執り行われました。僧侶を先頭に隊列を組み、紙吹雪と散華が舞う中、約2時間かけて大仏を五重塔前に奉安いたしました。

ご飯にバター、おはぎに醤油。やってみたら意外と美味な組み合わせがある。美食で知られた魯山人は納豆の茶漬けを好んだそう。嗜好は人それぞれ。では、「和食」と「牛乳」は合うか合わないか。

とある市の教育委員会が、小中学校の給食で牛乳をやめる方針を打ち出し少々波紋を広げている。学校給食の運営委員会で「米に牛乳は合わない」との意見が出たのだという。牛乳抜き給食を、ある一定期間、試行してみようするかをその後を決めるそう。

見直しすることになった背景には、和食がユネスコの無形文化遺産登録によって、日本の食文化があらためて世界から注目されたことによる。ただ、米飯の時に牛乳を飲む抵抗があるかどうかは、年齢や嗜好の違いが大きく、さらに栄養バランスとも大きく関わる。

杜のコラム

合わないのなら、単にお茶に替えれば良いというものでもなさそう。

牛乳が日本人の食生活に広まるきっかけとなったのは、何より学校給食の力が大きかったのではという気がする。子どもの成長に牛乳が不可欠なのは今さら言うまでもない。ある栄養士に言わせると、牛乳のうま味で和食の弱点である塩分の多さを補い、カルシウムも摂取できる利点があるそう。

飛鳥時代の大化の改新の頃には、すでに日本人は牛乳を飲んでいてという史実が残っている。江戸時代末には街の至るところで、一般販売もされていた。歴史的に見ても、牛乳が「和」の食材の一つであることは間違いない。

世界で注目を集める「和食」という文化。伝統の一方、新しい食生活は日本人の未来を成長させることができるか。

(森田)

八事山文庫

2014 10月号

発行所

真言宗 八事山 興正寺

http://www.koushoji.or.jp
TEL052-832-2801
FAX052-832-83832610号
毎月末日発行

今月の特集

- ☆ ようこそ大仏さま 八事山興正寺へ!...2ページ
- ☆ やすらぎ庵通心...8ページ
- ☆ 縁日さんぽ「毎月8日・大日堂・大日如来」...14ページ

なごやの火祭り 千燈供養会 10月17日(金)~19日(日)

平成大仏入仏式

ようこそ大仏さま
八事山興正寺へ！

待ちに待った釈迦牟尼大仏が、ついに興正寺にお越しになりました。皆さま方のお力を頂戴し、千年の仏さまを奉安できましたこと、深く御礼申し上げます。

●9月6日(土) 入仏鎮座式

散華舞う中、皆さまの手をお借りして善之綱にて大仏さまをお曳きし、五重塔前へと奉安いたしました。僧侶を先頭に華やかな行列、盛大な菓子まき、記念式典とまさにお祭りムードかな一日となりました。



千人以上の参加者が善之綱を曳き、平成大仏との勝縁を結んだ。



僧侶による菓子まきは、歓声があがり大盛り上がり！



山主と大仏鑄造元の梶原製作所・梶原社長との対談には会場中が聞き入った。



●9月7日(日)

入仏献茶式・百味供法要

入仏献茶式にて、表千家千宗員若宗匠が大仏の御前にて齋行され、境内は厳かな空気が満ちました。その緊張感の中、続いて厳修された百味供法要。大きな白木壇に、僧侶の手によって穀物、野菜、果物、乾物など色鮮やかな百のお供物が奉納されました。



献茶式前。僧侶・茶人たちが背筋を正して始まりを待ちました。



大仏の御前に百種の最高の供物が捧げられる

千宗員若宗匠の所作、一つ一つに参加者の視線が集まる



●企画展

入仏式に合わせ「こども書道展」「大師展」が開催されました。特に大師展では初公開の宝物展示もあり、期間を通して賑わいました。



弘法大師御遺告や弘法大師所持五結杵など貴重な宝物に見入る入場者

●9月8日(月) 入仏開眼式

自由な発想で書かれた色紙80点を展示三日間にわたる入仏式のフィナーレを飾ったのは開眼法要です。この興正寺に鎮座し、千年先まで私たちを見守ってくださる釈迦牟尼大仏。多くの方々に囲まれながら、その尊い魂を請じ入れるありがたい法会となりました。



厳かに厳修された開眼法要。一目見ようと、多くの人が集まった



名月にあわせて執り行われた月見団子祈禱。祭壇にはススキのお供えも



五重塔、仲秋の名月、そして釈迦牟尼大仏



たかのしょうせい
高野 正清

本堂の参拝も終わりました。
今回の寺通は「御朱印」について。
色形が様々で美しい御朱印をいただくことは、
寺社参拝の楽しみの一つでもあります。
いただく際には「朱印帳・納経帳」をお持ちください。

◆◆◆ここ八事山興正寺には御朱印が五つあります◆◆◆

まずは興正寺の総本尊「大日如来」の御朱印があります。

山内で最も高い吞海峰に、総本尊大日如来が安置されています。尾張徳川家二代藩主光友公が母の供養のため、元禄十年（一六九七）に鑄造されたもので、高さ三三・一七センチメートルもある巨大な銅像は、名古屋三大仏の一つです。



次に東山本堂の奥之院の「西方佛」です。

阿弥陀さまは西方にある極楽浄土に居られることから「西方佛」と呼ばれたりもします。
「大日如来」と「西方佛」は知多四国八十八箇所のお朱印でもあるのでまわっている方は是非。



次に西山本堂の「寿老人」は七福神の一人で、幸福長寿・延命長寿・福德智慧の御利益などがあると言われていています。寶生院（大須観音）の布袋尊、笠覆寺（笠寺観音）の恵比寿、辯天寺の辯才天、寶珠院の大黒天、福生院の毘沙門天、萬福院の福祿寿、興正寺の寿老人と、この七箇所でお朱印の始まりに一年の福を頂くためにまわります。



次に観音堂の「正観世音」です。

この観音さまは尾張三十三観音の一つになります。他にも三河三十三観音と美濃三十三観音があり、さらに豊川稲荷をあわせて「東海百観音」となります。



最後に西山本堂の中におられる「不動明王」です。
こちらは東海三十六不動の一つになります。専用の納経帳に朱印をされますと三十六童子の小さな御影が授与されます。それを台紙に貼り集めていただくのもひとつかと。



ツウの細道

「朱印帳・納経帳」とは

お寺や神社で参拝をした証として「御朱印」を押し、墨書を書いたり、書いてある紙を頂いたりといういろいろな種類があり、それを納めるのがこの朱印帳や納経帳になるわけです。本来の御朱印とは写経を納めた受付印だったともいわれられておりますので必ずお参りや写経を納めた後に御朱印は頂くようにしてください。

この御朱印にはお寺や神社、仏様の名前や「梵字」といって仏様を表す文字が書いてありますので粗末にならないように保管してください。

九月六・七・八日には紺紙金泥の平成大仏朱印が授与されました。その他にも興正寺では特別な法会が厳修される時にはその日にしか授与されない特別朱印などもございます。法会がある日は是非とも御参拝ください。

合掌

合掌

おみやぐりに

いこみやあ

season2

なごやの火祭り

せんとうくようえ

千燈供養会

10月17日(金)・18日(土)・19日(日)

みどころガイド

興正寺最大行事・千燈供養会が今年もやってきます。大迫力の大護摩壇を囲んで、お稚見さんがアツい！お参りの方もアツい！お坊さんも、もちろんアツい！熱気あふれる三日間のはじまりです。

目玉は何と言っても『柴燈大護摩供』！仏さまの智慧の火によって煩惱を焼き尽くし、あらゆる罪を消滅させ、現世安穩・家内安全・諸願成就などを祈念する山伏修験道最高の秘法です。今回はみどころをパッチリ紹介しちゃいます！

みどころ① 山伏行列のおなあり〜！！！！

千燈供養会の幕開けは、参道の大行列から。僧侶が山伏装束を身に付け、列を成して大日堂へ向かいます。この華やかさは必見！シャッターチャンスです！

それぞれ鮮やかな朱傘をさしていますが、「傘に着る」なんて言葉があるように、この朱傘はそれぞれのお坊さんの権威・地位・役割を表しております。



最大行事にふさわしい華やかな行列

さすが、山主の傘はすごい！



ほら山主の傘なんてすごい大きさ…これは人天蓋といわれ、傘の吊り元にはナント！「龍頭(龍の頭)」が付いています。龍神は水を司り、お寺や経典が火事で焼けてしまわないようにと仏教の守り神として崇められています。柴燈護摩壇へ向かう進列を火難に遭わないよう守護する大切な法具として活躍しているのです。

みどころ② 山伏問答

大日堂を登っていくと、あれ？練り歩いた隊列の前に、立ちはだかる人影が…。

ここでみどころ②「山伏問答」であります！これは、「自分はどこぞこの山伏で、ちょっと柴燈大護摩供に参加させてよ！」というところから始まります。けれどもなかなか簡単には仲間に加えてもらえません。そこで仲間と認めてもらう為に、智慧くらべが始まります。大音声での問答は迫力満点！



立ちはだかる山伏！
はたして認めてもらえるのか？!

まじり③ 結界

問答が終わると悪い輩が入らないようにするため、斧や弓矢、剣で道場を清め、結界が張られます。くれぐれも縄の中には入らないように！悪い輩と一緒に被われちゃいますよ。

次に結界の矢が放たれますが、さて皆さん。ここで道場の四方周辺に集まりましょう。飛んでくる矢を受け取った人はラッキー！ただいで帰り家宝にするもよし、一年間は大切にお家でお祀りしましょう。



この矢は厄除破魔矢となります



度肝を抜かれる山伏の迫力！

まじり④ 松明

結界が終われば、点火の儀式に入ります。総本尊大日如来さまの智慧の火を「真棒を燃やせ!!」の合図にて松明に点灯し、続いて柴燈護摩供に祈りを捧げる祈願の文「願文」の奉読となります。



「真棒を燃やせ！」

さていよいよ！皆さんお待ちかねの大護摩に点火！皆さん遠慮せずオオー！でもワァーでも声を出してオツケーですよ！しかし気づけば周りは白い煙がモクモク…。そして逃げる人多数…。でもここで要チエック!! 実はこの白煙が、皆さんの体を清めるんです。お線香の煙をすくって良くなりたところ、痛いところをなでると同様で、この煙にも御利益があるんです。



願文の奉読中はお静かに願います。



ただし、火の粉が飛んできたら遠慮なく逃げてください!!

まじり⑤

護摩木投入

山伏さんの法螺の合図を待つて、皆さんご自身の手で、願い事を書いた護摩木を正面から投げ入れてください。護摩木を投げ入れると帰られる方もいる中、ジーと何かを待つている方もおられます。最後まで残ると、儀式中、結界を張って火を守り続けた五弊のプレゼントがございます。数に限りがありますので、必ずではありませんが、是非に最後までお参りいただき、お受け取りください。



願いを込めて炎の中へ護摩木を投げ入れましょう！

寺宝通心

寺宝公開①

堆朱香盆

蓮弁文彫彩漆盆

漆の歴史は古く、日本でも縄文時代の遺跡から漆製品が出土していますが、それとは比較にならないほど中国の漆には、長い歴史があります。日本には、仏教伝来と同時期の中国・唐時代の漆製品が正倉院宝物などに残されており、鎌倉時代には、彫漆という技法で作られた漆製品が禅宗と共にもたらされました。

彫漆は、「堆朱」「堆黒」「紅花緑葉」と漆の色によつて名称が変わり、朱や黒、緑などの漆を器に何層にも重ね塗りした厚い層の上から文様を彫り起こす技法です。

興正寺に所蔵されている彫漆に名品と名高い香盆「蓮弁文彫彩漆盆(通称:堆朱香盆)」があります。

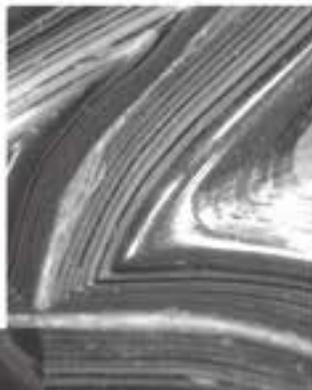
南宋時代(十二〜十三世紀)に中国で作られた盆で、尾張徳川家二代藩主・光友公より同文様の香合と合わせて能満堂虚空蔵菩薩への献物として寄進された品です。



- 一、堆朱香箱 虚空蔵尊御献物
壺ツ 裏(包)有
- 一、堆朱香盆 同 同 同
上古物 高六分 廻り 壺尺八寸
右御二品同箱に入

大納言光友様御寄附

八事文庫 「文久二年(一八六二)九月 什物帳」より



十五層の漆の層



参考:屈輪文様

茶・赤・黄・緑・黒の色漆を十五層にも塗り重ねてから彫り込んだ彫彩漆という技法で作られ、各層の色漆は、上質な漆が使われています。その証拠に、八百年以上たった現在でも、発色が鮮明で歪むことなく当時の姿を留めています。内側は、十二弁の蓮の花、外側の面は屈輪文様が唐草状に丁寧な彫り込まれています。高台の低さなど宋時代の特徴があり、この時代の彫漆は、同じ文様の香合と一対でされ、室町時代には座敷飾りに珍重されました。平成二十二年に徳川美術館にて寺外初公開がされ、専門家より世界中の類品のうちで、筆頭に挙げられると高い評価を得ています。

この、堆朱香盆が、五島美術館(東京)にて展示公開されることが決定しました。機会のある方は、是非、その姿をご覧ください。

(山本)

展示情報

平成26年10月25日「土」〜12月7日「日」

東京・五島美術館 特別展「存星―漆芸の彩り―」
「存星」とは、中国からもたらされた唐物漆器の一種です。舶来品の中でも「稀なるもの」として珍重された、中国宋・元時代の唐物漆器をはじめとする名品約70点が展示されます。

展示のご案内

企画展『三十六歌仙展 秋』

三十六歌仙を描いた大和絵のうち、秋がテーマの作品を展示紹介いたします。

会期:10月10日(金)~10月22日(水)

会場:カンチン茶屋 拝観料無料

* 普門園・竹翠亭拝観の場合は、拝観料500円(呈茶付)



竹翠亭襖絵保存・制作事業

襖のはなし

日本には四季があり、それぞれの季節をすこすのに適した工夫があります。とりわけ夏の高温多湿な時期には、実用的な工夫のほかに「目で見て感じる涼しさ」にも心が配られます。

日本建築の特徴は、木や紙といった自然の素材が基本となっていることです。現代では伝統的な日本家屋は減少していますが、参拝や観光で訪れる寺院では、変わらず目にする事ができます。

興正寺の茶室・竹翠亭でも夏の暑い期間は、襖ではなく簾戸が建てられています。簾戸は、「夏障子」「御簾戸」「葦戸」「葭障子」とも言われる、簾をはめこんだ建具で、夏の強い日射しを遮り、風通しも良く、空間を快適にします。

暑さもやわらぎ秋風が吹きはじめた九月、簾戸から襖への建て替えがされ、天瑞圓照和尚一代記の一部公開が始まりました。これまでもご紹介してきましたが、水墨画家・山田大作先生の筆によるこの作品は、襖に墨で描かれています。

絵を描く画面ともなるこの「襖」がどのような作られているか皆さんはご存知でしょうか。以下に簡単に紹介します。

1 下地

・木などで枠となる骨組を作る

2 下貼り(次の四種類を重ねる)

・下地の緩みや動きをとめる「骨縛り」
・光を遮断する「胴貼り」
・むくり感(ふくらみ)、防音のための「みの掛け」
・下地の引き締めや強化のための「みの縛り」

3 浮け

・下貼りで重ねた和紙を小刀で梳く「みみ梳き」
・表貼りが下貼りに貼りつくのを防ぐため袋状に和紙を貼る「浮け」

4 引手

・引手板を彫り、引手を止め付ける準備をする

5 表貼り

・全面に薄い糊を引き、表になる紙や布を貼る

6 縁と引手

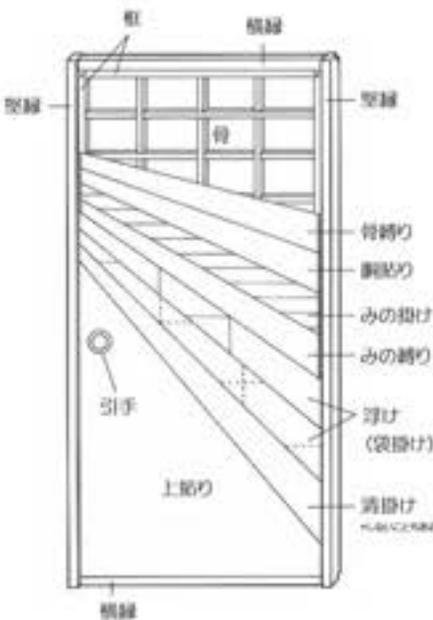
・貼り替えを前提に、取り外せるよう縁を止める
・引手を止め付ける

このようにな多くの工程を経て「襖」は完成します。

室内装飾のひとつとして、絵が描かれたり、紋様を梳きこんだ和紙を貼ったりと

様々なものがありますが、現在では画家が襖絵を描く機会は少なくなりました。

竹翠亭をお訪ねいただき、現代の襖絵の中で季節の移ろいを感じていただければ幸いです。(川村)



公開特別近間完成襖絵

◆ 山田大作先生講演会 ◆

茶室 竹翠亭の襖絵が一部特別公開されるのを記念して、9月23日に水墨画家・山田大作先生の講演会が行われました。水墨画について、制作にまつわる裏話などを楽しくお聞かせくださいました。



興正寺竹翠亭 襖絵保存・制作事業への御志納お願い

興正寺では、平成大仏建立、総門や新たな堂宇の建設などの事業を進めております。このたびの竹翠亭の襖絵保存修復および制作事業はその一環で、現在ある襖絵を修復するとともに、新たに「開山天瑞圓照和尚一代記」を描いた襖絵を制作いたします。竹翠亭は皆様の憩いの場、文化と触れ合える空間です。この事業を行うことで、新たな文化財を創出し、後世に伝えるとともに、地域文化の活性化と伝統技術の継承に寄与したいと願っております。つきましては、趣旨に御賛同いただき、ぜひとも保存修復および新たな襖絵制作に御寄進と御厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。合掌

竹翠亭 襖絵保存・制作事業御志納

御志納 一口金壹千円より 大口御志納 一口金拾万円より

襖絵保存・制作事業 志納者へ芳名

勝野博子 轟木哲雄 高野法慶 横山恵子 橋本恒子 伊藤尺子
自平成二十六年八月十一日 至平成二十六年九月十日
御志納を賜り、心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先 八事山興正寺 襖絵保存・制作担当
寺務課 川村・山本 TEL 〇五二一八三三二二八〇一



お坊さんによる紙芝居



お坊さんによる怪談話

やすらぎ庵では僧侶による様々な行事を行っております。

秋はスポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋と様々ですが、皆さまにとって実りの秋となりますように。今月も宜しくお願い致します。合掌

やすらぎ庵通心

やすらぎ
コラム

虫の音

コロコロコロ...リリリリリ...

日本人ならば、秋の虫の音を聞くと、なんとも言えない風情に感じ入ります。ところが西洋人には、この秋の虫の音が聞こえないのだそうです。いや、音としては聞こえているのですが、感じ入るといった風情を知らないのです。

物悲しい秋の夜長に虫の声を聞いて癒される...日本人にとって当たり前の文化・伝統が、私たちの心を養い育て、救っているのです。

さる有名なカウンセラーの話に、「精神の錯乱した方を催眠療法で導く際に、ぼら仏さまが出てきましたよ」と言うと、不思議にその時だけはやすらかなお顔になるんです」と綴っておられました。その方は別に仏教を専門で勉強したというわけでもありません。ただ、私たちの文化・伝統の中に仏さまという存在がいて、やすらぎを与えてくださるということなのです。

イオンモールという現代社会の中で、日本の伝統文化を伝える、仏さまのやすらぎを伝える—やすらぎ庵はそんな場でありたいと願っています。



なかよし地藏ぬりえ

お地藏さまぬりえ 第2弾

手をつないで『なかよし地藏ぬりえ』始めました。どんなお地藏さんが描けるかな。無料で行えます。



重軽地藏



正観音菩薩立像

やすらぎ庵にてお祀りしております。

どなたでもお参りいただけます。毎日10時より般若心経をお唱えします。(僧侶不在時は職員が行います)ぜひ、皆さまもお勤めにいらっしやってください。

《行事ご案内》～どなたでもご参加いただけます～

■法話

今さら聞けない仏事シリーズ
第三回“般若心経”

僧侶が般若心経の解説をわかりやすくお話しいたします。

●10月10日(金) 午前10時より

■法話

毎月15日は法話の日。今回はどんなお話が聞けるでしょうか。

●10月15日(水)
午前10時より

■写経講座

毎月20日は写経の日。写経の意味・書き方など僧侶がお教えいたします。般若心経またはいろは歌が書かれた写経用紙を筆ペンでなぞっていただきます。筆ペンは当日貸出いたします。

●10月20日(月) 午前10時より

◆リラックス座禅講座

毎月30日は座禅の日。リラックス座禅とは呼吸と姿勢を整え、瞑想を行い心身をリラックスさせる僧侶オリジナルの座禅です。忙しい皆様に心を落ち着かせる術を僧侶が伝授いたします。(イス席でも行えます)

●10月30日(木) 午前10時より

◆いろは写経

やすらぎ庵オリジナルの写経。いろは歌の写経です。漢字とひらがなの2種類あります。毎日いつでも行えます。

【参加無料】定員20名

申込方法 お電話またはメールにて
※各行事は予約優先となります。
※混雑時にはお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

イオンモール3Fレクチャースペースで行う催事 ◇法話 10日(金) 15日(水) ◇写経講座 20日(月)
予約不要・参加無料 14時から行います ◇リラックス座禅 30日(木)

八事山興正寺 港別院
やすらぎ庵

〒455-0858 愛知県名古屋市中区西茶屋2丁目11
イオンモール名古屋茶屋店 1F
営業時間 9時～19時

お問い合わせ TEL052-364-6271
FAX052-364-6281
Eメール yasuragian@koushoji.or.jp

◇月釜 9月12日(金)

興正寺月釜が宗徧流名古屋支部の懸釜で竹翠亭にて開かれました。多くの方々が来場し、初秋の茶席を楽しまれました。(次回の月釜は11月12日 表千家 柴田紹和先生)



◇大般若経転読祈祷会 9月5日(金)

去る9月5日(金)、本堂にて大般若経転読祈祷会が厳修され、参拝者の厄難消除・家内安全・諸願成就を祈願しました。

八事山 歳時記

◇秋季お彼岸 9月20日(土)～26日(金)

秋のお彼岸の合同供養会が圓照堂・本堂にてそれぞれ厳修され、壇信徒の方々のご先祖さまを供養しました。



お彼岸合同供養会



土砂加持法会



人形・仏具供養会

◇修行体験記

この夏、中国からの留学生・張聖乾さんが修行体験に来てくれました。その体験記をご紹介します！

私は一年前に偶然チベット密教に関する本を読みました。その時から仏教に興味を湧いてきました。その後、中国四川省にある色達五明佛学院に入学し、通信課程を受け始めました。中国では、今「短期出家」という形で体験修行ができる寺院が増えています。日本のお寺はどのように修行しているかと思い、探しているうちに興正寺が研修僧募集していることを知りました。そして電話をかけて、まず20日間体験させていただきました。

一日のスケジュールは、朝6時に起床、掃除、朝食、作務、昼食、作務、夕食、10時就寝。朝6時からまず参道を掃除して、6時半に朝食。食事でも修行だそうで、作法を行います。そして7時になったら、雑巾で回廊を雑巾がけします。汗がぼたぼたと垂れてシャツはすぐにびしょびしょになります。8時から、朝勤(朝のおつとめ)をします。30分ほど正座をしなければなりません。私にとっては、それが一番つらかったです。私がいた時はちょうどお盆の時期だったので、合同供養という長い法会がありました。その時、正座の時間も長くなります。最初はちょっと正座をしたら、すぐにしびれて痛みました。

朝のおつとめが終わった後は、また掃除など作務を行います。広いお寺なので、やることはたくさんありました。ほとんど今までやったことのない作業で本当に大変でしたが、ご僧侶と一緒に作務をして、いろいろ聞かせていただきながら楽しい時間を過ごしました。皆が親切に接してくれ、分からない事は優しく教えてもらいました。20日間は本当にあっという間でしたが、体験してよかったと思っています。ありがとうございました。



張聖乾

一日修養会ダイジェスト

聖者の行進⑦ 踊り念仏・時宗の開祖「一遍」 担当僧侶 柘田英伸

踊り念仏の一遍上人は、法然上人の弟子・西山上人の孫弟子にあたります。西山浄土宗の教えをしつかりとした基礎としながらも、往古の空也や教信といった念仏聖の生き様を範とし、世俗のすべてを投げ打った「捨て聖」という生き様を貫いた人物です。

伊予国・道後の出身。壇ノ浦の戦いで平家を滅ぼす武勲をたてた河野水軍の末裔・武士の子として生まれますが、一遍の誕生の頃には、一族はすでに落ちぶれていました。



粗末な衣に裸足姿。一遍は和歌を詠んで自らの境地を吐露し、布教した。「唱うれば 仏も我もなかりけり 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏」

道行く人々に配っていた一遍の札を、一人の律僧が拒否したのです。いわく、「御仏を信じないわけではないが、あなたを信じられない人から受け取れない」と。しか

し一遍は、この僧に渡せないという周囲にいる人々も受け取らなくなってしまおうと考え、無理矢理この僧にも渡したのでした。自分の強引な賦算を激しく自問する一遍。その答えを求めて、本宮前での参籠。あらわれる熊野権現。白髭を蓄えた山伏の姿でした。

「一遍よ、お前が人々を救うのではない。阿弥陀仏が救うのだ。信不信、浄不浄を問わず賦算をすればよいのだ。」

自分の生き方に確信を得た一遍は、妻と娘を従者に任せて故郷へと還し、たった一人で賦算を続けました。「遊行聖」から「捨て聖」へ。熊野で得た融通無碍の境地「六十万人の頭」(※)を織り込んだ、「南無阿弥陀仏 決定往生六十万人」と木版で印刷した新たな賦算をはじめます。

はじめの数期間は、自らの道を見出すために懐悩します。

故郷の岩屋、雲巖あらたかな信州の善光寺や難波の四天王寺での参籠を重ねます。四天王寺での阿弥陀仏のお告げにより、「遊行」という旅を重ねる生き方を選択。「賦算」という、南無阿弥陀仏と手書きした小さなお札を配る布教をはじめました。(この当時、賦算へふだくばり/敷を敷えること)という宗教行為は、それによって喜捨を得て生活の糧とする側面もあつたようです。

妻・超一と娘・超二、従者を連れての遊行の旅。その転機は、四天王寺から高野山を経て熊野本宮を訪れたときに起こります。

法然は「どうか私を極楽へお救いください」と念じながら繰り返す念仏。親鸞の念仏は「救いようもない愚かな私をすら、阿弥陀仏様はお救いくださいと信じます」と一念をこめて唱える。対して一遍の念仏は、「南無は(私)・阿弥陀仏は(御仏)」。一声一声私と御仏とが合わさる嬉しさよ」と繰り返して唱える念仏。一遍にとって念仏とは、救われるためでも、救いを信じるためでもなく、救われ続ける喜びそのものだったのでした。

ひとり賦算の旅を続ける中で、一遍の透徹した思想、純一なる布教に魅かれて、一人また一人と付き従う弟子が生まれます。遊行の旅とて集合離散は流れまかせ。一遍は彼らのことを「時衆(今たまたま集まっている者たち)」と呼びました。時衆を引き連れての遊行の旅路。信州小田切の里で、請われて三日間の念仏行の折、喜びのあまり経典の言葉通り「歡喜踊躍(よろこんで、跳びはねておどる)」したのが踊り念仏のはじまり。この弘安二年は、日本の芸能史にとっても常に意識される年となっています。信仰の極まりの恍惚状態から生まれた(踊り念仏)は、舞いや踊りの持つ、魂鎮めの所作から鎮魂の儀礼へ、やがて踊りの娯楽性の強まりによって(念仏踊り)、さらに風流化が進んで(盆踊り)となります。

全国を旅して16年。自らの死期を悟った一遍は、往古の念仏聖・教信のいた兵庫東加古近くの観音堂で、日中の法要の最中、人知れず往生を遂げたのでした。念仏の声に開かれて。51歳でした。



※(六字名号)一遍法十界依正一遍体万行離念一遍証人中上々妙好華(南無阿弥陀仏)の六字はすべてに通じる真理でありすべての世界はひとつにつながっているすべての行いを捨て去ればこのことがわかり人々の中で美しい花を咲かせることができる。この漢詩の頭文字をあわせると「六十万人」となる。

一日修養会

【法話・聖者の行進
(座禅・臨濟宗の開祖「栄西」)・写経】
10月11日(土)10時~14時頃

今回は「聖者の行進」と銘打って、各宗派を開かれた祖師や高僧のお話。境内の庭園を眺めながらお料理もお楽しみいただけます。

支具料:2,000円(昼食付)
(杜の響会員1,000円)

定員:66名(要予約)申込締め切り:10月9日(木)

お問合せ・お申込みは、光明殿1F 事務局まで

☎0120-8510-78

団体参拝通心

お坊さんと行く興正寺団体参拝

興正寺団体参拝は當寺僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もごさいます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを身近に感じていただき、仏縁を深めていただければ幸いです。

平成26年度団体参拝予定

◆虚空蔵菩薩めぐり〈全3回〉

第3回 10月14日(火) 三重県 金剛證寺 伊勢神宮
申し訳ございません。諸事情により中止となりました。

◆総本山・大本山めぐり〈全2回〉

第2回 静岡 11月未定
臨濟宗方広寺派大本山 方広寺 遠州古刹めぐり
臨濟宗方広寺派の大本山で東海地方を代表する禪寺です。ご本尊は国重要文化財である釈迦三尊像です。釈迦三尊像は今の期間、間近でお参りいただけますのでこの機会に是非ご参加ください。申し訳ございません。諸事情により中止となりました。

- 日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
- 募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- 申込受付開始は光明殿にてお知らせします。
- 締め切り 各参拝日の7日前(1泊2日のツアー除く)
- 申込方法 ご来寺またはお電話にて
- 支払方法 ご来寺またはお振込にて前払い
お問い合わせ 光明殿 興正寺事務局 0120-8510-78

日頃から、八事山の整備事業にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

平成大仏入仏式とお彼岸で、9月はあっという間に過ぎた感じがいたします。八事のお山も秋を迎え、濃緑から錦秋に衣替える準備に入りました。



△モミジを診断する樹木医さん

春からずっと気にしていたエスカレーターのモミジは、残念ながら暑さに負けてしまいました。やはり、この夏の高温や雨の多さなどの天候不順について行けなかったようです。急速、樹木医さんに診ていただいたところ、やはりそろそろ寿命だとのこと。この春、きれいな花のような新芽を出すのが精一杯だったのですね。森の中の、寿命を迎えている木々にとって、この夏の天候は厳しいものでした。いつも思うことですが、エスカレーター最頂部のコナラの樹もお年ですし、台風で折れちゃった木もありましたし……自然の摂理、仕方の無いこととはいえ、う～ん…

八事のお山の昨日 今日 あした…



△芙蓉の花

残念。寂しいです。

エスカレーター周りの植栽たちも、そろそろ冬支度へ入っていきます。所々に木の鉢がありますが、お気づきでしょうか？これらは植樹の時期をずっと待ってる椿やあじさいたちです。

記念樹の受付も始まりますし、ちょっと気が早いです。が来年の春に向けて、八事山は整備の時期を迎えます。



△萩の花

最後に、初秋の一日、能満堂にある芙蓉が鮮やかな花をつけました。また、普門園などでは萩もきれいに咲きました。どうぞこれからも、秋の八事山をよろしく願いたします。

(井上)

記念植樹のお知らせ

お子様の誕生と成長を願う「誕生記念」や人生の節目を祝う「祝祭記念」の植樹を限定でお受けいたします。

奉納料 一万円 (ソメイヨシノ一本・プレート含む)

誕生記念樹「さくら」

八事山 平成26年3月27日現在
すべて植樹済です
八事山 二層
2014年10月

△プレート
見本



※植樹時期、場所については當山より指定となります。詳細はお問い合わせください。担当:井上・管家

竹翠通心

普門園のご案内

- 拝観時間 10時～16時
- 拝観料 500円(お抹茶付)

月釜のご案内

11月12日(水) 表千家 柴田紹和
一席二服 1,500円

遊翠の心

- 日程 <写経> 10月1日(水) 10月14日(火) 10月29日(水) 11月4日(火) 11月26日(水) 11月10日(月)
- <阿息観> 10月28日(火) 11月25日(火) <茶の湯> 10月21日(火) 11月17日(月)
- <きもの装い講座> 10月8日(水) 11月19日(水)

お手持ちのきものを楽しく装うための教室です

- 時間 午前10時～午後2時～ 各2時間
- 定員 各回10名(要予約)
- 料金 1,000円(お抹茶付)
きもの装い講座のみ2,000円
- 各教室についての詳細、ご予約は
竹翠亭までお問い合わせください

興正寺マルシェ特別企画

着物を一緒に楽しみましょう

初めての方でも普段着から礼装まで楽しく美しく着られるようになる「きもの装い講座」を無料体験できます。洋服の上から帯結びを一緒にしてみましょう!

無料体験

毎月21日 興正寺大書院にて 10時～/11時～/13時～(各回30分)

今月のご紹介

せいじ きくからくさもんちようこうち ちょうきんすかしぶた
青磁 菊唐草文彫香炉 彫金透蓋 覚了院 寄付

太鼓の形の青磁の香炉。胴部分には菊と唐草文が配されていて、金属製の蓋には菊が透かし彫りされています。
香炉の裏側には「八事山常在 □□尊属物 覚了院納之」と書かれており、境内の仏様に供えられた香炉であることがわかります。



喫茶 八琴庵



サツマイモのシフォンケーキ
500円
ドリンク付き

仲秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。
「冷夏」と言われた今年の夏。しかしながら「名古屋の夏」なのでしょうが暑い!という言葉が口癖のように出ておりました。
気付かないうちに、空も高くなり吹き抜ける風も爽やかな風になり過ごしやすい日々が送れる「秋」になりました。
秋といえば皆様お待ちかねの「食欲の秋」
喫茶のもう定番とりましたスイーツ「シフォンケーキ」
秋のシフォンケーキは「さつまいものシフォンケーキ」をご提供いたしております。
「栗より上手い」と地方では言われているほどで、サツマイモ原産国で日本は世界第9位だそうです(豆知識)。
確かに身近な食べ物で、色々な形となって食卓を飾っておりますが、「八琴庵」ではシフォンケーキという形になって皆様にご提供致します。是非ご賞味くださいませ。
ドリンク付きで500円にてご提供しております。

営業時間は午前7時から午後5時です。(オーダーストップ午後4時30分)

普門園～八事の杜興正寺～の結婚式 私たちCHOUCHOUBRIDALがお手伝いしています。

CHOUCHOUBRIDALが目指す結婚式。
ヒトが創る Natural wedding
Natural とは本来“自然”や“天然”など人の手が入っていないものや昔から存在する環境という意味があります。
ヒトが創る Natural wedding とは、結婚をするふたりがありのままの自分(=自然体)を表現できる心地よい空間を人が関わって創る wedding の事です。
結婚式当日はふたりの自然な笑顔に昔から変わらずふたりを見守ってきた家族や友人が自然と集まり、自然と幸せを分かち合う。そんな Natural wedding のために、おふたりに寄り添いコミュニケーションをとりながら、結婚式を創造してカタチにすることが CHOUCHOUBRIDAL の結婚式です。

はじめのいっぽ



平成大改修 志納ご芳名

〔金、壹拾万円〕安井 博
〔金、貳万円〕青山 彰
〔金、壹万円〕鬼頭有代 栗田俊弘・裕子
〔金、参千円〕小中洋子 桂川達恵
〔金、壹千円〕中島幸弘 大野くに代

奉納白布 志納ご芳名

〔金、参万円〕関みち子
〔金、壹万円〕前田富美子 磯部勝英 鈴木浩子 角田サエ子 鬼頭志枝
大島昌男 後藤宣和 平井世紀子 高味修一 石澤英子
溝上政好・信子 森多津子 加藤慶子 大島キヌ 濱中応彦
井上昌隆 山田久子 桜木文子 菅沼萌舟 高杉哲夫
高杉恭子 森 光子 岩室美千代 久米寛子
大日山眞言寺 中島富貴子 梶田よし子

百味供法要 「百味の膳」志納ご芳名

〔紅白まんじゅう・落雁〕両口屋是清
〔金、貳万壹千円〕竹内良夫・竹内七重
〔金、一万円〕蟹江良子
〔金、参千円〕村瀬素子 遍照院 犬塚正圭 今岡道子 大平みね子 萬谷勝
萬谷美枝子 吉川莉乃 矢鳥袈裟之 西尾孝七 新田章二
新田五百子 本谷弘征 平島三千代 星加幸子 山田芳子
伊藤邦夫・貴子・暢章・さやか 阿戸功・由佳・篤志 館功
安野千鶴子 河合求女 河合博子 河合雄太 河合幸恵 包坂健二
今川幸子 中川政子 浅井由喜子 藤本美保子 那須友佳理
西川和子 長崎育子 木村静子 後藤一美 後藤浩 荒賀清江
鈴木淳子 山田隆子 安井嗣仁 大日山眞言寺 前田富美子
城田眞千子 松居栄子 加納桂子 山口光子 石川眞映
小久江信子 高田和明 高田光宏

献 瓦 志納ご芳名

〔金、壹千円〕秋山 満 秋山シゲ子 藤原礼子 風岡淳 樋口定男 石原英子
余語久仁子 柴田和子 石黒美都子 富田 榮 飯田和子
田尻良男 岩井陽子 若松敏雄 神宮司 進 田中孝明
大野くに代 長谷川米 野村光彦 金村昭博

森の御寄進 志納ご芳名

〔金、伍千円〕吉田登巳子
自 平成二十六年八月七日 至 平成二十六年九月十日
〔順不同敬称略〕
ありがとうございました。心より感謝申し上げます。合掌 八事山興正寺

各講座案内 ～どなたでも参加出来ます～



●学ぶ

《仏教絵解き講座》講師 梶田英伸
10月24日 午前10時より 普照殿 華宮

〔五七日・閻魔大王〕〔六七日・輪廻転生〕※プロジェクター使用

《仏教入門講座》講師 森田泰澄
10月30日 午後2時より 普照殿 華宮

難しい仏教用語をなるべく使わずにお経を中心に勉強をします。
脱線話が多いので気楽に参加できます。

●仏讃歌 10月18日はご詠歌大会です

《ご詠歌上級者》講師 鈴木隆弘 光明殿 会食室
10月14日 午後1時半より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

《ご詠歌初級者》講師 鈴木智弘 光明殿 会食室
10月11日・21日・26日 午後2時より ※21日は本堂出仕

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

●体験する

《阿息観》講師 杉浦宣秀
10月10日・20日・30日 午後2時より 普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)に
やっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

《写経・写仏》
10月21日 午前11時半より 光明殿 会食室

法話を交えながら、写経・写仏を実習します。

※日程・会場は変更する場合がございます。
事前にお電話でご確認ください。

お坊さんが教えるご葬儀コラム ⑩

●骨迎え 還骨廻向初七日忌 ●

西山海良

◎骨迎え

出棺後残った人々で祭壇を片づけ、「中陰壇」
を設置します。(斎場の場合は葬儀社が準備
します)中陰とは四十九日の忌明けまでの
期間で、仏教では、人間がいったん死んでから
次の世に生まれ変わるまでの期間のことです。
遺骨は四十九日までは埋葬しないのが一般的
ですので、遺骨をおいておく小さな祭壇を
作り、そこにお祀りします。

そして火葬場から喪主、親族が帰ってきたら、
まず清め塩、清め水で身体を清めます。宗派
によっては行わない場合があります。

◎還骨廻向初七日忌

中陰壇に遺骨を安置したら、還骨廻向と
初七日忌の法要を行います。

本来、初七日法要は臨終から数えて七日め
に行うものですが、最近では遺族や親族が
再び一週間後に集まるのは困難であるとい
う事情から葬儀後に、すぐに還骨廻向とい
つしよに行うことが多くなりました。

僧侶が読経をして遺族、親族の焼香にて
勤めます。

◎精進落とし

葬儀が全て終了したところで、僧侶や葬儀
に尽力してくれた人たちに感謝の意を表し、
労をねぎらうための宴席を設けます。これを
「精進落とし」といいます。

本来は四十九日忌の忌明けに行うもので
した。宴に入る前に喪主が親族代表から、
謝辞を述べます。一同、疲れていることが
予想されますので、宴席は一時間ほどでお開き
にしましょう。

なお、親族がそろっているこの機会に、
香典返しや忌明け法要、納骨の日取りなどを
打ち合わせしておくといでしょう。

縁日さんぽ 其の七

毎月8日



大日堂・大日如来



諸堂縁日

5日	大随求明王(西山本堂)
8日	大日如来(大日堂)
13日	虚空蔵菩薩(能満堂)
15日	阿彌陀如来(東山本堂)
18日	観世音菩薩(観音堂)
21日	弘法大師(弘法堂)
24日	地藏菩薩(能満堂)
28日	不動明王(不動護摩堂)

10月のマルシェお料理教室 テーマ「秋の食べ方について」

●土鍋でほっこり炊き込みご飯 ●レンコンおからボール ●フライパン de スイートポテト

要予約：〇五二・八三三・二八〇一(申し込み切：毎月十九日)
 定員：二十名 参加費：二五〇〇円(持ち物：エプロン・筆記用具)

お坊さんに縁日の由来や仏様のことをお聞きする「縁日さんぽ」。
 今月は毎月8日、興正寺総本尊・大日如来の御縁日。
 教えてくれたのは高野正清僧侶です。

いつでも衆生を優しく見守る

興正寺総本尊の大日如来は境内で最も高い呑海峰にある大日堂から皆さまをいつも見守っています。真言宗では大日如来は宇宙私たちが生きている世界すべてを指すそのものであり、命あるものはすべてこの大日如来から生まれております。この大日如来には大きく分けて二種類の分け方があり、覚りを得る為に必要な智慧を象徴する金剛界大日如来と、無限の慈悲の広がり象徴する胎蔵界大日如来になります。この金剛とはダイヤモンドのことを指し、智慧がとて堅く絶対に傷つくことのないことを意味し、胎蔵とは母親の母胎のようにすべての森羅万象が大日如来の中に包み込まれている様を意味します。大日如来は私たちの父であり、母でもあるわけです。少し親しみがわいてきたのではないのでしょうか？

胎蔵界大日如来

興正寺大日堂におられるのは胎蔵界大日如来で「名古屋三大仏」の一つです。元禄十年(一六九七)に尾張徳川家二代藩主光友公が母の供養の為に铸造させ、高さが三三・七cmになります。平成大仏の約半分ぐらいの大きさですね。



諸願成就や身体健全を願い、お経典で祈ります。



興正寺総本尊の御縁日とあって参拝者も多い



今月の種まきに向けて、みんなで草取り



理趣分経転読祈禱

大般若経六百巻の中のひとつで五百七十八巻目となる理趣分経ですが、縁日ではこのお経典を真読し転読することで皆さまの身体健全、病氣平癒、諸願成就を御祈願いたします。その他にも皆さまと一緒に花を育てております。花壇作りから草抜き、種まき、肥料をまいたり、水やりをしたりと参拝される方たちと頑張っております。

大祭「華曼茶羅会」

四月八日大日堂大祭「華曼茶羅会」では一年通じて育てた花で仏さまの世界「曼茶羅」を荘厳します。その前で祈禱させていただきます。曼茶羅の中の仏、すべてと深く縁を結んでいただく法会になります。今年は花が間に合わず紙で作った花で行いましたが、来年こそは育てた花で胎蔵界曼茶羅を荘厳したいと思っております。皆さま毎月八日は大日堂に是非お越しください。

高野僧侶、ありがとうございました！

次回は毎月十五日、東山奥之院の御縁日です。お楽しみに！

観音堂秘仏開扉

西山観音堂御本尊
御開帳特別祈願会

日時 十月五日(日)

十三日(月・祝)

開扉法要 午前九時より

ご祈禱 午前十時～午後二時

場所 西山観音堂

ご祈禱料 壹千円

ご祈禱をお申込みされる方は当日、御祈禱用紙をお持ちになって西山観音堂へお越しください。ご不明な点は受付までお問合せください。



「随求の悲願は、求める子を得せしめ、安産をもたらす」 大随求明王の安産祈願

特別護摩祈禱厳修

戌の日 安産合同祈禱会(10月・11月)

10月6日(月)・18日(土)・30日(木)

11月11日(火)・23日(日)

14時より

西山本堂にて

祈禱料

5,000円

10,000円(安産木札授与)

大随求陀羅尼

腹帯加持の様子



古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。現代、興正寺においても子宝・安産法薬として「大随求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勤めております。

※腹帯にお名前をお書きしますので、事前のご予約

(電話・来寺)をお願いいたします TEL.052-832-2801

大日堂

大日堂種まき

10月8日(水) 12時30分より

4月の大祭に向けて、大日堂花壇に花の種をまきます。どなたでもご参加できますので動きやすい服装でお越しください。みなさんで色とりどりの、きれいな花を咲かせましょう。



三千仏の名号を唱え、一年間の罪を懺悔する

三千仏名会

12月1日(月)～5日(金)

本堂にて

過去・現在・未来の三千仏の名号を唱え、礼拝する修行です。當山においては8月の布薩会と並ぶ、最古の法会となります。どなたでもご参加できます。(5日結願日はご参加できません)

一泊修行体験合宿

俗世間をしばし離れ、お寺の日常を体験してみませんか？
厳しい作務の中に新しい自分を見つけられるかもしれません。

*日程 11月11日(火)～12日(水)

*定員 各20名 *支具料 5,000円

*お問い合わせ 052-832-2801

第1回 興正寺 古本供養市

～古本供養と、青空古本市～

2014年10月31日(金)～11月3日(祝)

午前10時～午後4時(雨天時中止)

※最終日は15時閉場

会場 興正寺 参道

古本供養

◎11月3日
午後2時30分より

思い出の本、大切な本を供養して必要な方に受け継ぎませんか？ご希望の方は期間中五重塔前にお持ちください。 供養料 500円



お問い合わせ
NPO法人
ハートフルプロジェクト
052-882-0588

八事山 興正寺の紅葉まつり

11月29日(土)・30日(日)

午前10時～午後7時



地域をつなぐ人力車をはじめ、大人から子どもまで楽しめるワークショップ・屋台など盛りだくさんのイベントを行います。紅葉の美しい季節、昼夜で見事に表情を変える八事の山の自然を楽しみに、ご家族皆さままでぜひお越しください。

10月の行事カレンダー

普門園休園日 行事・挙式により終日拝観できません

10月11日(土)・12日(日)・26日(日)

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
先勝	友引	先負	仏滅 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 要予約 支具料1,000円 竹翠亭 小松永明	大安	赤口	先勝
5	6	7	8 寒露	9	10	11
友引 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ◎観音堂秘仏開扉 9:00 観音堂	先負 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂	仏滅	大安 ◎大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分経祈祷 大日堂花壇種まき ▽遊翠の心 着物装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円	赤口	先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	友引 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘 ▽一日修養会 10:00 光明殿 要予約
12	13 体育の日	14	15	16	17 千燈供養会 開闢	18 千燈供養会 中日
先負	仏滅 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂干支参り ◎観音堂秘仏開扉 9:00 観音堂	大安 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良 ▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘	赤口 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥の院 善之綱おくり	先勝	友引 千燈供養会 奉納写経 10:00-15:00 本堂 ◎稚児 山伏行列 17:00 山門前 ◎柴燈大護摩供点火 19:00 頃 大日堂	先負 ◎千燈供養会奉詠大会 10:00 光明殿 ◎稚児 山伏行列 17:00 山門前 ◎和太鼓奉納演奏 18:00 頃 大日堂 ◎柴燈大護摩供点火 19:00 頃 大日堂 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈祷 法話 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂
19 千燈供養会 結願	20	21 興正寺マルシェ	22	23 霜降	24	25
仏滅 千燈供養会 ◎稚児 山伏行列 17:00 山門前 ◎和太鼓奉納演奏 18:00 頃 大日堂 ◎柴燈大護摩供点火 19:00 頃 大日堂	大安 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	赤口 ◎弘法大師縁日 読経 法話 10:30 弘法堂 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ▽ご詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘 ▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円	先勝	友引	先負 ◎地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり・法話 ▽仏教絵解き講座 10:00 普照殿 樹田 英伸	仏滅
26	27	28	29	30	31	1
大安 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	赤口	先勝 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈祷・法話 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 支具料1,000円 要予約 西山海良	友引 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 要予約 支具料1,000円 竹翠亭 西山海良	先負 ◎安産合同祈祷会 14:00 本堂 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	仏滅 ◎古本供養市 10:00-1600 参道	大安

七五三 身体健全祈禱

古来より「子どもは七歳までは神仏からの預りもの」として尊ばれ、ことに大切にされてきました。興正寺ではお子様の健やかな成長を願い、身体健全祈禱を厳修いたします。色づき始めた紅葉のもと、ご家族そろってハレの日をお祝いいただければと思います。

平成26年 11月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日)
10:30/11:30/13:00/14:00/15:00 ※9日は10:30/14:00の回はございません
※いずれも要予約:お申し込み時に日時をご指定下さい。

◎対象(平成26年度)

平成20年生まれ(七歳)、平成22年生まれ(五歳)、
平成24年生まれ(三歳) 満年齢でも受付いたします。

祈禱料:5,000円

(特別御幣・御守・お菓子付)

— 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています —